



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-201 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

- 国際会長主題 「価値観、エクステンション、リーダーシップ」 “VALUES ,EXTENSION and LEADERSHIP”
 アジア地域会長主題 「変化をもたらそう」 “Make a difference”
 西日本区理事主題 「Let's do it now!」
 中部部長主題 「知らせよう！ワイズの奉仕活動を」
 金沢クラブ会長主題 「奉仕活動の輪を広げ、地域への認知度を高めよう！～YMCAとEMC活動の充実を～」

2021 2 月間強調 TOF CS FF

今月の聖句 (吉川興志子さん)

あなたの御言葉は、わたしの道の光
わたしの歩みを照らす灯。
詩編 119 章 105 節

2月強調月間

一人一人の思いが、環境を守り、命を救います。全ての献金を忘れずに、ご協力をお願いいたします。
藤好基子 地域奉仕・環境事業主任
(大阪なかのしま)

2月例会プログラム

とき 2021年2月18日 (Thu.) 18:30~20:30
 ところ ホテルトラスティ金沢香林坊
 会費 ¥3,000(会員は無料) ¥2,000円(メネット)
 司会 吉川興志子さん
 開会・点鐘 山内ミハル会長
 主 題 司 会 者
 ワイズソング 一 同
 今月の聖句 吉川興志子さん
 ハッピーバースデー 山内ミハル会長
 ゲスト紹介 数澤輝夫君
 スピーチ 菱田 昭氏
 “プロの英語ガイド”
 委員会報告
 ニコニコタイム 伊藤仁信君
 YMCAの歌 一 同
 閉会・点鐘 山内ミハル会長

1月クラブ活動状況

第1例会 (1月21日 Thu.)
 コロナ感染予防のため 中止
 第2例会 (1月5日 Tue.)
 メ ン : 数澤、幸正、山内 (3名)
 メネット : 数澤 (1名)
 ニコニコタイム 0円
 クラブファンド 累計 59,250円
 BFポイント
 切手 0g 累計 1,700g
 現金 0円 累計 0円



会 長 山内ミハル 書 記 西 信之
 直前会長 山内ミハル 北 肇夫
 副会長 数澤輝夫 会 計 幸正 一誠
 伊藤仁信 ネット会長 伊藤 悦子

第一例会：毎月第三木曜日 18:30~20:30
 ホテルトラスティ金沢香林坊 Tel (076-203-8111)
 第二例会：毎月1日 17:30~20:00
 金沢ニューグランドホテル 2F (蔵) Tel (076-233-1311)

除雪車が来た

朝倉 みゆき

1月13日水曜日朝8時、ガガーツ、ガガーツ、ガンガン。「除雪車来た！」あわててマスク、手袋付けて外に出た。

コマツのあの大きな除雪車が家の前を行ったり、来たり。朝倉と私は、家の前の雪を運んで貰えるようにスコップで雪を道路に出した。「あと五年は雪掻き頑張れるかなあ〜」と朝倉が言った。今年77歳だ。家は角家で、道路の交叉の雪は家の前に山になっていた。、小さな私の軽自動車の前は大玉転がしの、玉ほどの大きさの雪玉が2つあった。そこへ、50代ぐらいの男の人が近付いて「車出したいでしょう」と言いながら大きな雪玉を崩しては、除き始めてくれて、「これで車は出れるな」と言いました。なんと有り難いことか。するとまたそこへ二十歳ぐらいの二人の青年が、「おまかせください」と私たち二人に大きな声で言いながら近付いて来ました。

「ねえ〜、どこの人？」と聞くと除雪車を指さして「同じ会社」と言われた。見る見る二人は角の雪を除雪車に持って行って貰えるように雪を出してくれた。家の角には、消火のための赤いホース格納箱もあり、雪のために埋もれて見付けられなくならないように除雪を心掛けてはいたものの、この大雪の量ではと思ったりしたところだった。若い青年二人は、アツという間に、雪掻きをして私たち二人を助けてくれた。そして、除雪車の後ろに付いて歩いて行った。

「本当にありがとう」と言うとニコニコと笑顔を返してくれた。こんな助けを頂く体験は初めてのことだった。

「この冬もまだ雪掻き出来るね」と朝倉と頑張っはいたけれど、若い人から見るとオタオタして見えたのかなあ〜と思いながら、青年二人のさわやかな好意に頭が下がり温かい余韻に浸りました。

【1月例会の報告】

1月例会は、コロナ感染拡大防止のため、中止しました。

菱田照氏のプロフィール

- 1943 岐阜県大垣市生まれ(78歳)
- 1965 名古屋テレビ海外派遣生選抜:ユタ大学サマースクール・米国横断プログラム参加
- 1966 南山大学(Nagoya Catholic University)経済学部卒業
 - 石川県白山市ニッコー株式会社入社
- 1970-1974 同社ニューヨーク支社勤務
- 1979-1984 同社、アルジェリア及びパリ駐在。三井物産と提携プラントプロジェクト
- 1985-2006 同社、電子セラミック事業部:主に国外営業、部長職で退職
 - 米国、韓国、中国、台湾、シンガポール、フィリピン市場開拓
- 2008-2011 北陸学院大学短期大学部非常勤講師(貿易実務、商業英語)
- 2014 国土交通省、観光庁「英語通訳案内士」国家資格取得、金沢にて英語観光ガイド開始
- 2018 石川県通訳案内士協会・代表…現在に至る。

【2月第二例会報告】

日時:2月1日(月)17:30~19:30

場所:金沢ニューグランドホテル 蔵

参加者:数澤、幸正、山内、数澤燦

協議:

- ① 伊藤ワイズ、北ワイズの病状について
一日も早いご回復を祈りつつ…。
- ② 2月例会について
担当の確認。
例会のプログラムについて。
- ③ 集金について
年会費(後期分)、TOF(1,000円)、BF(1,000円)、YES(500円)の集金について
- ④ 次期会長・主査研修会について
3月6日(土)日帰りで開催。対面とリモートで行う事になりました。

(山内ミハル 記)

~~~~~ お知らせ ~~~~~

☆ 2月例会について

新型コロナ感染拡大防止のため、持ち帰り用のお弁当を準備します。

食事時間を削除できますから、20時ごろに終了となる予定です。お弁当は帰宅後召しあがってください。

☆ 例会時、下記をお守りください

- ・ホテル入り口で手指の消毒
- ・マスク（できるだけ不織布マスク）を着装
- ・大声でしゃべらない
- ・密接をさける

Happy Birthday

該当者はありません

3月の担当

|       |        |
|-------|--------|
| 司会・聖句 | 北 肇夫君  |
| ブリテン  | 北 肇夫君  |
|       | 数澤淑子さん |



メ ネット 報



短い出来事

昨年の10月でしたが、階段の登りきったところで転びまして手首を捻挫と骨折をして痛い目にあいました。それも主人が行っている病院の整形外科に、私が運転して駐車場に車を置いてそこから、いつもなら主人も一緒に受付に行くのですが、その日に限って主人は入り口で先に降りたいと言ったので、私一人で駐車場から受付に向かう途中の出来事でした。その時は少し痛かったけれども、そのうち治るだろうと思い主人の治療が終わったので家に着いたところ、みるみる手首が腫れだし痛みも耐えられなくなったので近くの整形医院に行って診察していただきました。レントゲンを撮ったら上記の結果でした。その先生に、何故そこで診てもらわなかったのかと尋ねられましたが、そんなにヒドイとは思わなかったしそこは、診察は午前中だったのでと言いました。後で分かったのですが、主人の主治医とその先生は先輩後輩の仲だとのことでした。世の中はどこでどうなっているのか分からないものだと思います。

怪我の方ですが骨折は治りましたが、捻挫の方がなかなか治らず腫れもまだあるようです。力が入らず重いものや細かいものを持つことがまだまだ大変です。料理などこの頃は少し復活してきましたが一、二食用意するのが精一杯です。主人は自分に原因があると思ってか、美味しくないと顔に出ているのに何でもおい

しいと言って食べてくれています。この頃は外食やテイクアウトを食べたいと言うようになってきました。

これと似たようなことは外にも沢山ありましたが、二人で一人分の老々介護の予行演習かなと感じるようになってきました。幸い嫁に行った娘が近くに住んでいるので、少しは気が楽ですがお互い別所帯なので、できるだけ頼らないようにと思っておりました。しかし今回は主人が足と腰を悪くし、私が手を怪我したので娘夫婦は心配して毎日の様に手伝いに来るし、大阪や東京の孫たちまで見舞いに来たのでお盆とお正月が一緒に来たようでした。

最近の私たちの出来事を少し書きましたが、私は今年で令和になって3回の新年を迎える事ができました。昭和、平成、令和と浮きつ沈みつしながらも今日までよくぞ生きてこられたものだと自分ながら驚いております。若い時は自分の力で生きてこられたと自負しておりましたが、ほんの短い期間でしたが上記のようなことを経験して初めて気づいたことがありました。それは何かしらの働きが作用して今日まで私達が生かされてきたのではないかと思うようになりました。これから先は、そう長くはないでしょうが多少右往左往をしながらも、なんとか生活していけるのではないかと思っております。

(伊藤 悦子 記)

# いざ立て

淵田多穂理 訳詞

1. いざ<sup>た</sup>立て <sup>こころ</sup>心あつくし  
て <sup>あ</sup>手を<sup>あ</sup>挙げ <sup>ちか</sup>誓い<sup>あ</sup>らたに  
われらの <sup>まも</sup>モットー<sup>まも</sup>守る  
ふさわし <sup>な</sup>その名<sup>な</sup>ワイズメン  
<sup>た</sup>絶え<sup>せ</sup>ず <sup>のぞ</sup>め<sup>あ</sup>て望<sup>み</sup>  
この<sup>み</sup>身を <sup>ささ</sup>捧<sup>つ</sup>げ<sup>つ</sup>尽くさん
2. <sup>うた</sup>歌<sup>え</sup>ば <sup>こころ</sup>心ひとつに  
ともがき <sup>ひろ</sup>がり<sup>い</sup>り<sup>き</sup>て  
<sup>とお</sup>遠<sup>き</sup>も <sup>ちか</sup>近<sup>き</sup>も<sup>みな</sup>皆  
<sup>ささ</sup>捧<sup>げ</sup>て <sup>た</sup>立つ<sup>や</sup>ワイズメン  
<sup>さか</sup>栄<sup>え</sup>と <sup>ほま</sup>誉<sup>れ</sup>豊<sup>か</sup>  
まことは <sup>むね</sup>胸<sup>に</sup>あふれん

# YMCAの歌

淵田多穂理 作詞

1. <sup>わこうど</sup>若人<sup>の</sup>あつきいのりは  
<sup>ひやくねん</sup>百年<sup>の</sup>歴史<sup>を</sup>つづる  
とこしえ<sup>の</sup>のぞみにもえて  
さかえありYMCA  
われらまた<sup>こ</sup>ぞり<sup>て</sup>起<sup>たん</sup>
2. <sup>かいたく</sup>開拓<sup>の</sup>みむねかしこみ  
<sup>ふくいん</sup>福音<sup>の</sup>み<sup>はた</sup>旗<sup>は</sup>進<sup>む</sup>  
<sup>ち</sup>地<sup>の</sup>は<sup>て</sup>の<sup>くに</sup>国<sup>々</sup>まだも  
ひかりありYMCA  
われらまた<sup>いさ</sup>勇<sup>み</sup>て<sup>ゆ</sup>行<sup>かん</sup>
3. <sup>みんぞく</sup>民族<sup>の</sup>へだてとりさり  
<sup>て</sup>手<sup>を</sup>つな<sup>ぎ</sup>一<sup>つ</sup>となりぬ  
もろとも<sup>に</sup>心<sup>を</sup>合<sup>わ</sup>せて  
みのりありYMCA  
われらまた<sup>ちか</sup>誓<sup>い</sup>て<sup>か</sup>勝<sup>たん</sup>